

II 定義

定義

1 広義のひきこもり群（本人票）

今回の調査では、社会的自立に至っているかどうかに着目して、以下のように定義する。

「Q20 ふだんどのくらい外出しますか。」について、下記の5～8に当てはまる者

- 5．趣味の用事の時だけ外出する
- 6．近所のコンビニなどには出かける
- 7．自室からは出るが、家からは出ない
- 8．自室からほとんど出ない

かつ

「Q22 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」について、6か月以上と回答した者

であって、

「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、
「病気（病名： ）」を選択し、病名に統合失調症又は身体的な病気を記入した者、
「妊娠した」を選択した者、
「その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨や出産・育児をしている旨を記入した者

又は

「Q13 あなたは現在働いておられますか。」で、「専業主婦・主夫又は家事手伝い」と回答した者（注1）（注2）

「Q18 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに をつけてください。」で、「家事・育児をする」と回答した者

を除いた人数 49人（有効回収率に占める割合 1.57%）。

このうち、Q20で6、7又は8に該当する者を「狭義のひきこもり」と、Q20で5に該当する者を「準ひきこもり」とし、「狭義のひきこもり」と「準ひきこもり」の合計を「広義のひきこもり」とする。

（注1）今回調査よりQ18の除外項目を補完する目的で追加している。なお、前回調査時はひきこもり群の者で本項目の該当者はいなかった。

（注2）広義のひきこもり群の中には「勤めている」と回答した者も含まれているが、回答状況や自由記述の内容をふまえて判断した。

総務省「人口推計」（2015年）によれば、15～39歳人口は3,445万人なので、広義のひきこもりの推計数は下記の計算より54.1万人となる。

	〔該当人数（人）〕	〔有効回収率に占める割合（％）〕	〔全国の推計数（万人）〕	
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	33	1.06	36.5	準ひきこもり 36.5万人
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	11	0.35	12.1	
自室からは出るが、家からは出ない 又は 自室からほとんど出ない	5	0.16	5.5	狭義のひきこもり 17.6万人
計	49			Ⅱ 広義のひきこもり 54.1万人

なお、Q23 その他で統合失調症と回答した者を広義のひきこもり群から除外しているが、含めた場合の推計数は下記の計算より56.3万人となる。（注1）

	〔該当人数（人）〕	〔有効回収率に占める割合（％）〕	〔全国の推計数（万人）〕	
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	35	1.12	38.7	準ひきこもり 38.7万人
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	11	0.35	12.1	
自室からは出るが、家からは出ない 又は 自室からほとんど出ない	5	0.16	5.5	狭義のひきこもり 17.6万人
計	51			Ⅱ 広義のひきこもり 56.3万人

（注1）前回調査では、病名に統合失調症と記入した者を除外して集計したことから、今回もそれに準じたが、厳密には本人の回答のみで統合失調症のケースを除外できないため、あるいは、統合失調症のケースを除外することが必須ともいえないため、今回の調査では、統合失調症と回答した者も含めた人数と推計値を併記した。

2 親和群（本人票）（注2）

Q32 13～16の4項目が、すべて「1. はい」又は1項目のみ「2. どちらかといえ
ばはい」と答えた者から「広義のひきこもり群」を除いた者。

Q32 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に をつけてください。（ は各項目につきひとつ）

(13) 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

1 はい 2 どちらかといえはい 3 どちらかといえはいいえ 4 いいえ

(14) 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

1 はい 2 どちらかといえはい 3 どちらかといえはいいえ 4 いいえ

(15) 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

1 はい 2 どちらかといえはい 3 どちらかといえはいいえ 4 いいえ

(16) 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

1 はい 2 どちらかといえはい 3 どちらかといえはいいえ 4 いいえ

（注2）「ひきこもりを共感・理解し、ともすると閉じこもりたいと思うことがある人たち」を抽出し、親和群とした。

3 一般群（本人票）

回答者全体から「広義のひきこもり群」「親和群」を除いた者でQ32 13～16の項目にすべて回答している者。

（注3）親和性得点の度数分布

Q32の項目のうち、下に挙げた4項目を「ひきこもり親和性」を示す項目とした。4項目の合計点を「ひきこもり親和性」の程度を示す得点とした。

調査実施の際の選択肢は、「1. はい」「2. どちらかといえはい」「3. どちらかといえはいいえ」「4. いいえ」であったため、得点が高いほど「ひきこもり親和性」が高いことを示すよう、逆転処理を行なった上で4項目の得点を合計している。可能な得点範囲は4点から16点であり、平均値は9.04、標準偏差は3.01であった。

「ひきこもり親和性」が15点～16点（Q32 13～16にすべて「1. はい」と回答するか1項目のみ「2. どちらかといえはい」と回答）であった157名から、広義のひきこもり群と判断された7名を除き、残された150名を親和群とした。

「ひきこもり親和性」が14点以下である2945名から、広義のひきこもり群と判断された40名を除き、残された2,905名を一般群とした。

親和群の「ひきこもり親和性」得点の平均値は15.5、標準偏差は0.5であった。また、広義のひきこもり群の平均値は11.5、標準偏差は2.8、一般群の平均値は8.7、標準偏差は2.7であった。

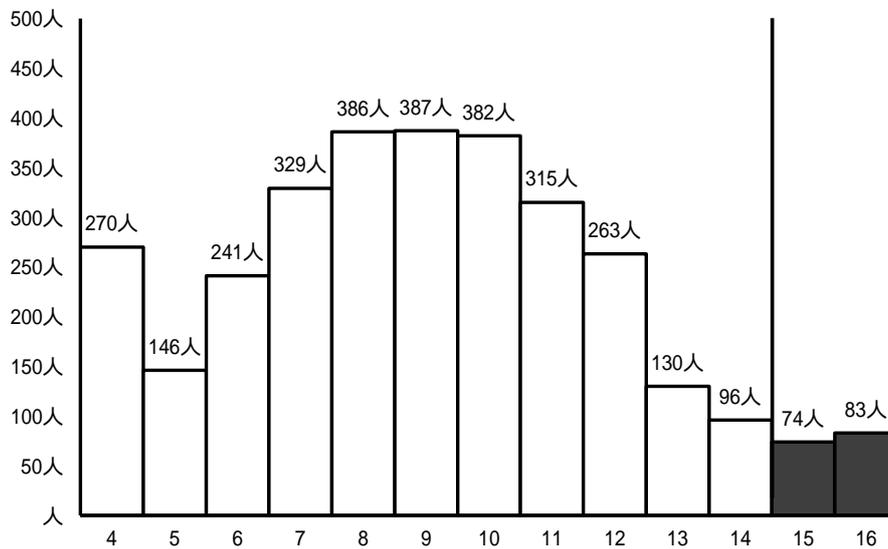
「ひきこもり親和性」の項目

Q 3 2 1 3 . 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

Q 3 2 1 4 . 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

Q 3 2 1 5 . 嫌な出来事があると、外に出たくなる

Q 3 2 1 6 . 理由があるなら家や自室に閉じこめるのも仕方がないと思う



4 過去に広義のひきこもりであったと思われる人の群（本人票）

今回の調査では、以下のように定義する。

本人票「Q27 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか」について、下記の1～4に当てはまる者

1. 趣味の用事の時だけ外出する
2. 近所のコンビニなどには出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない

であって、

本人票「Q30 その状態になったきっかけは何でしたか。」で、

- 「病気（病名： ）」を選択し、病名に統合失調症又は身体的な病気を記入した者、
「妊娠した」を選択した者、
「その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨や出産・育児をしている旨を記入した者

又は、

本人票「Q27 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか」について、下記の1に当てはまる者であって、

1. 趣味の用事の時だけ外出する

かつ

家族票「Q15 対象者の方は今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか」について、下記の5に当てはまる者

5. 1～4のような状態（注1）に6か月以上連続してなったことはない

を除いた人数 158人

（注1）「1～4のような状態」は以下のとおり。

1. 趣味の用事の時だけ外出する
2. 近所のコンビニなどには出かける
3. 自室からは出るが、家からは出ない
4. 自室からほとんど出ない

